

令和4年度 旧野幌屯田兵村財産審議会会議録

●日時：令和4年6月8日（水） 15時00分～15時21分

●場所：江別市民会館21号室

●出席者：〈委員〉7名

岡会長・梶野量久副会長・木村弘委員・木村達委員・平野委員

・山田委員・吉原委員

（欠席5名 梶野雅裕委員・梶山委員・鈴木委員・湯川委員・湯谷委員）

〈市〉5名

萬総務部長・阿部総務課長・米山総務係長・難波主事・山田農村環境整備係長

●傍聴者：なし

1 開会 岡会長

（1）会長挨拶

2 総務部長挨拶 萬総務部長

3 議事

（1）報告事項

ア）旧野幌屯田兵村振興基金について

岡 会 長：それでは議事に入ります。事務局から報告をお願いします。

米 山 係 長：お手元の資料の1ページをご覧くださいと思います。

旧野幌屯田兵村振興基金について、ご説明を申し上げます。この基金は、昭和41年、野幌屯田兵村区の解散に当たりまして市にご寄附をいただいた、20,000千円を積み立てて管理しているものであります。

資料1ページには、昭和41年度から昭和62年度まで、資料2ページには、昭和63年度から平成27年度まで、3ページには、平成28年度から令和3年度までの運用状況を記載しております。令和3年度は、令和2年度末の残高である21,681,856円を、1年を銀行に預託したことに伴う利子収入317円を加え、令和3年度末の残高は21,682,173円となっております。

ます。令和4年度においても、全額を銀行に預託しております。

基金につきましては、最も有利かつ確実な方法により管理するため、平成13年度までは定期預金などにより運用し、利子収入を生んでおりました。しかし、平成14年4月から銀行のペイオフ対策が必要となり、平成14年度から平成16年度までは普通預金(利率0.001%)に預託したため、結果としてほとんど利子収入を生まないという状況となりました。また、平成17年度からは、金融機関が破たんした場合でも市の借入金と当預金を相殺できることに着目し、現在まで定期預金で運用しているところであります。

以上が旧野幌屯田兵村振興基金の状況であります。

岡 会 長：ただいまの報告につきまして、質問はありますか。

(なし)

岡 会 長：質疑がないようですので、本件については、以上で終わります。

イ) 江別市兵村防風林維持管理事業について

岡 会 長：事務局から報告をお願いします。

難波主事：お手元の資料4ページをご覧くださいと思います。

江別市兵村防風林維持管理事業について、ご説明を申し上げます。令和3年度の事業実績ですが、下草刈につきましては8月に委託により実施しております。委託料は598,400円であります。倒木等の処理につきましては令和3年4月から令和3年8月まで委託により実施しております。平成30年9月に発生しました台風被害の影響もあり委託料は2,526,469円あります。次に5ページをご覧くださいと思います。

平成30年度台風21号による屯田防風林の風倒木処理について、ご説明を申し上げます。被害状況につきましては、平成30年度に発生した台風21号の強風により、兵村防風林において約500~1000本の風倒木が発生しました。被害木の多くは樹齢の高いトドマツであり、根ぶくれや掛かり木が多数発生している状況です。市の対応状況につきましては、平成30年度には道路や

農地への倒木及び掛かり木等の一部を伐採処理、令和元年度から令和3年度にかけて北海道治山事業にて風倒木処理、住宅沿いの劣情間伐、植栽を実施しております。なお、北海道治山事業による整備は令和3年度をもって終了となり、こちらの進捗状況については6ページのとおりとなっております。

今後の予定につきましては、強風等で発生する風倒木等は従来どおり市で伐採処理を行います。

なお、7ページ及び8ページは令和4年5月現在の写真であります。

説明は以上です。

岡 会 長：ただいまの報告につきまして、ご質問ありませんか。

山 田 委 員：将来的にはどんな状況になるのでしょうか。これだけ被害が出ているというのは何か原因があるのでしょうか。今後の風の被害はまだあるのでしょうか。

山 田 係 長：平成30年の台風が江別市内で風速25mを超える強風が吹き、兵村防風林以外にも野幌森林公園でも竜巻のようになり、大量の木が倒れました。兵村防風林につきましては、かなり樹高が高く、かつ枝はりが上の方に集中しているような木が多く倒れている状況です。それがちょうど風の抜け道となったとみられ、500～1,000本倒れたところです。復旧の際に北海道とも十分に協議を重ね、背の高い針葉樹だけではなく比較的背の低い広葉樹を植栽しております。そうすることにより、専門的な内容になりますが、針広混交林と言われる、風への耐性が強い森林を目指していくため、広葉樹を植えていただいている状況です。まだ植えたばかりのため苗木の状態ですが、これから育てていくと針広混交林となり、将来的には風の耐性が強くなると考えています。

岡 会 長：他に質問はありませんか。

木村(弘)委員：風倒木の処理はしているようですが、その後、植林はやっているのでしょうか。

山 田 係 長：植林に関しても、北海道治山事業の中で風倒木の処理と合わせて行っています。

8ページの下段に植栽されている写真がございます。植栽苗木は細いため、鞘管で守っている状態です。このようにして植栽をさせていただいています。

木村(達)委員：江別には屯田と鉄道の防風林がありますが、鉄道の防風林は近年切られてきており寂しく思っています。ぜひ防風林が後世に引き継がれていくようお願いしたいと思っているのでよろしくお願いいたします。

岡 会 長：私からもお伺いします。今、かなりの本数の広葉樹林が植えられているという

ことですが、これは将来的に広葉樹が成長して、今ある針葉樹林が広葉樹林に代わっていくと考えます。将来的には湯川公園のような広葉樹林の防風林になるのでしょうか。また、広葉樹林は葉が落ちますが、その時に防風・防雪効果がどれほどあるのでしょうか。見た目には広葉樹林のほうが紅葉など綺麗だと感じますが、将来的にはどういうイメージを持たれているのでしょうか。

山田係長：針葉樹に関しては、樹高が高くなりすぎたものや樹齢が大きくなりすぎたものは平成30年の風や台風で概ね倒れたものと理解しています。その後も風道が変わったり、風の当たりが一部強くなる場所もございしますので、針葉樹に関しては元気がないものや枯れかけているものは倒れてきている状況です。それを市の方で維持管理として、風倒木の処理を毎年しております。治山事業の方で植えていただいた広葉樹に関しては、苗木の状態から育ていき、針葉樹と広葉樹がほどよく混ざった針広混交林、風耐性が強い森林を目指している状態です。針葉樹は寿命がございしますので、将来的には湯川公園のような広葉樹主体の防風林になる可能性はありますが、今後も森林の様子を見ながら、引き続き治山事業の活用を含めて、北海道に相談して進めていきたいと思っております。

岡会長：いかがでしょうか。他に質問はありませんか。

(なし)

岡会長：それでは、本件については以上で終わらせていただきます。

岡会長：(2)その他につきまして、事務局より何かありましたら、説明をお願いいたします。

事務局：特にございません。

岡会長：委員の皆さんからその他につきまして何かありましたら、発言願います。

(なし)

岡会長：他に無いようですので、以上をもちまして本日の審議会を閉会いたします。